

＜青葉区中央市民センター＞の取組み【目標3-②】

青葉区中央市民センターが平成25年度から複数年かけて取り組んできた事業「仙台まちなか散歩」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成27年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

平成27年度までの学びを通して、活動内容を座学や散策だけで終わらせず、自主的な活動を活発に行い、地域の歴史や伝統を学び、発信するということを目指して活動しました。

講座開始当初から参加しているメンバーで組織する「まちなかあるきたい」の自主的な活動だけでなく、その活動の発表の場を提供することや広く地域に発信する機会を設けました。

その活動についての主なものが次のようになります。

- ① 公開講座を実施しました。(10月～11月)
講話「東一番丁界隈の戦前の街並みーまちと人々の生活」
講話「資料から見た仙台空襲・進駐軍・戦災復興」
- ② 「中学生の職場体験学習」において、一緒に地域を探検し、若い世代へ地域の歴史を伝えました。(11月)
- ③ 定例会の中に研修会を取り入れ、他のボランティアグループと共にまちあるきを開催し、ボランティア活動について学びました。(10月)
- ④ 当市民センターのまつりである「ふれあい祭」において、「まちなかあるきたい」自主活動の学習成果展示発表を行いました。年間のまち歩きの様子を資料にまとめ、来館者に説明しました。(2月)



まち歩きの様子
《水道記念館の見学》



中学生に地域の歴史を
説明する様子

＜柏木市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

柏木市民センターが平成25年度から複数年かけて取り組んできた事業「ふしぎ！発掘！再現！—不思議な地形をジオラマにしよう—」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成27年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

柏木八幡地区は、北山丘陵から広瀬川に至る段丘上に位置し、起伏に富んだ地形を有しています。特にこの地区を流れていた「へくり沢」周辺はかつて交通の難所として名高い場所でしたが、明治期の近代化、戦災復興や宅地化の波により、いつしか見えにくいものになっています。本講座では、「へくり沢」や「四ツ谷用水」を軸に、あらためて、この地域の成り立ちを古地図や地名、昔からの住人の話などから読み解き、学習してきました。また、これを地域の方々や次世代に伝えていくために、平成25年度には「へくり沢周辺地区の立体模型」を、平成26年度には「ジオラマ覚性院丁・八幡小学校界隈の図」を製作しました。平成27年度の講座では、9名の方が、更に地域資料の収集を進めるとともに、この模型を地域の特性や歴史を伝えるツールとして活用する手法を考えながら、次の事業に取り組んできました。

- 【1】模型の説明札追加や解説パネルの製作、ジオラマ展示台の木工製作を行い、館内に常設展示コーナーを設置しました。
- 【2】関係資料集を作成しながら、柏木ふれあいまつりや八幡小学校ウォークラリーなどの地域行事で講座メンバーによる展示物の解説を行いました。
- 【3】講座メンバー企画により、公募講座「へくり沢ウォーキング」を2回実施し、模型の解説と探訪の案内役を担いました。



↑市民センターロビーに開設した「へくり沢周辺ジオラマコーナー」

11月25日・12月5日 →
「へくり沢ウォーキング」で案内



10月4日柏木ふれあいまつりでの展示内容の説明



＜北山市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

北山市民センターが平成25年度から複数年かけて取り組んできた事業「長生き活き活きまちづくり計画」では、地域で活躍する住民が増えて町内会の活性化に繋がるような事業「北山寺子屋」を行い、各町内会の人材が地域講師として地元住民との交流を楽しみながらその力を発揮することをねらいとして取り組んでいます。

平成27年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

①「北山寺子屋」～みんなで楽しむ朗読～

5/16,23,30.(土)〈全3回〉 参加12名
延べ19名

初心者向けの朗読講座を開催しました。地域でお見かけする顔・若者・男性など初めて会う方々が、発声練習や早口言葉で口慣らしをした後、お話・エッセイ・狂言と毎週テーマを変えて皆が声を出して読み合い、互いに良い勉強となりました。



②「北山寺子屋」～仙台城下の町名由来と町割り～

7/11,18,25.(土)〈全3回〉 申込61名
延べ122名

“北山”という地域を知るために、歴史関係の著書も多い古田氏を講師に迎え、歴史講座を開催。初回は八十八基の辻標が有る仙台城下がどのようにできたか町名の由来、2回目は八街道の今昔について、最後に仙台の今に残る文化遺産を学びました。

③「北山寺子屋」～秋休み科学遊び～

10/14(水) 参加17名

地域の科学ボランティアが、身近な物を使った様々な実験を行いました。参加した子供達は、楽しみながら科学の不思議を学び、作った飛行機を飛ばし楽しく遊びました。

- *ビニール袋に水を入れ楊枝を刺しても水がこぼれない実験
- *金属の温度変化を豆電球で観測
- *ストローと紙の輪2個で飛び「リングリング飛行機」作り



④「北山寺子屋」～初めての百人一首～

H28.1/16(土) 参加21名

新春を迎え、日本文化の百人一首に詳しい地域講師に古都の遊びを教えて頂きました。小倉百人一首の由来やカルタの取り方を学び、大人も子供も同じテーブルで競い合いました。幼稚園児とお母さん・小学生・外国人留学生・地域の大人が、白熱した「百人一首」をした後は、「坊主めくり」で和気あいあいと和やかに交流しました。



⑤「北山寺子屋」～インドの家庭料理～

H28.3/11(金) 参加15名

インド出身の方に家庭でできる簡単なチキンカレーを習い、楽しく地域交流をしました。香辛料の効いた誰もが食べられる異国の味を堪能しました。

- ①皮をむいたポテトに塩をまぶし、フライパンで焼き目を付けて蓋で蒸し焼き
- ②玉葱・大蒜・生姜・トマト・香辛料でマサラを作り、蓋をして鶏肉を煮る
- ③水が出てきたらポテトも入れ弱火で煮込み、塩・砂糖で味を調べて召し上がれ！



＜福沢市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

福沢市民センターが平成25年度から複数年かけて取り組んできた事業「災害に備えよう」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成27年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

先の東日本大震災の反省教訓を活かし、町内会等地域団体間の情報交換や避難所運営等をより円滑に推進できるよう、講座として「災害にそなえよう」を実施しています。

避難所となる北六番丁小学校をエリアとする北六・中江の両連合町内会は地域防災連絡会を立ち上げ、平成25年度から市民センターと連携して合同で訓練を開催しています。これまで、避難所運営を含む災害時における地域の運営体制を構築するとともに仙台市地域防災リーダーを中心とした防災活動に積極的に取り組んできました。

平成27年度は、仙台市の総合防災訓練の一環で夜間における避難所運営訓練を北六番丁小学校で実施しました。応急手当講習や救急救命講習は毎年続けて実施し、スキルアップを図っています。

災害時等のいざという時には対応できる人材が新たに増え、地域の活性化が進んでいます。

平成27年度はこのような積極的な活動に対して、北六・中江両連合町内会は仙台市から感謝状をいただきました。



仙台市総合防災訓練
北六小での夜間訓練



福沢市民センター
での中江地区防災
訓練の様子



＜旭ヶ丘市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

旭ヶ丘市民センターが平成24年度から複数年かけて取り組んできた事業「ホタルの里サポーター育成講座」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成27年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

地下鉄旭ヶ丘駅に隣接する台原森林公園内に「ホタルとメダカの里」があり、毎年6月から7月にかけて沢山のホタルが飛翔します。訪れる皆さんを楽しませてくれるその陰には、地域住民有志「仙台旭ヶ丘ホタルとメダカの会」と、旭ヶ丘市民センターが育成支援している「ホタルの里サポーター」の方々が、年間を通して環境整備やホタルの幼虫の世話などを行ない、大きな力となっている事実があります。

27年度のホタルの里サポーターの活動は、環境整備活動の他、児童館と共催した講座で子どもたちの講師を担当したり、ホタルまつりの事前準備や行灯作り、ホタルクイズを担当したりしました。

また、ホタルの里サポーターのことを多くの人に知ってもらい、新たなサポーターになってもらうためのPR活動として「ボランティア講演会」を2月に実施しました。ホタルの里サポーターが自ら活動内容などを説明し、一緒に活動しましょうと積極的にアピールを行いました。



＜片平市民センター＞の取組み【目標3-②】

片平市民センターが平成25年度から複数年かけて取り組んできた事業「片平地区紹介DVD制作プロジェクト」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成27年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

片平市民センターでは、平成25年度から片平地区を紹介するDVDを制作し、約2年をかけて、「イイネ！かたひら ～歴史と自然のまち片平～」が完成しました。制作にあたっては、地域の皆さんに夏まつりなどの町内会行事や防災訓練などの様子を撮影していただき、各町内会と片平地区全体を紹介する構成になっています。撮影して下さった地域スタッフのなかには、自身の町内会だけでなく、他の地域の撮影に協力して下さった方もあり、地域の枠を超えての取り組みとなりました。その後も地域を記録していくスタッフとして行事に関わっていらっしやいます。

完成したDVDは、色々な方に片平地区を紹介するツールとして地域で活用していただくことになっており、霊屋下町内会の3月のひな祭りサロンの折にも、参加者に向けて上映されました。「町内会長の銀幕デビュー」といったユーモアも飛び、各地域のスポークスマン誕生となりました。



DVD上映中

完成したDVD



作品のワンシーン
(出演も撮影も…?)



＜水の森市民センター＞の取組み [目標3-②]

水の森市民センターが平成25年度から複数年かけて取り組んできた事業「記録に残そう地域の記憶」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成27年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

水の森市民センターの所管地域は、昭和30年代半ば以降に開発が進んだ住宅地で、開発当時の状況を知る人の高齢化が進んでいます。地域の創成期から現在に至る半世紀余りの記憶を風化させないように記録に残し、次世代へ語り継ぐ取組を行っています。事業実施には記録誌の資料収集・編集、発表、語り部等、地域の人材が不可欠となり、コーディネートしていく人材を発掘していく必要もあります。地域の方の参加により、地域資源への新たな見直しを図ってきました。今後も地域内でのつながりを深め後世に繋いでいく予定です。

この事業は複数年事業の4年目を迎えます。昨年度は編集委員会を設け、資料収集や記録誌の内容について話し合いを重ねました。今年度はさらに具体的な編集に取り組む予定です。



「記録に残そう地域の記憶 編集委員会」当館 会議室



「編集委員会にて 活発な話し合い」当館 会議室



「編集委員会にて 資料集め」当館 会議室

＜貝ヶ森市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

貝ヶ森市民センターが平成 25 年度から複数年かけて取り組んできた事業「防災情報発信講座」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成 27 年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

防災情報発信講座は、昨年度の反省を踏まえ、また、連合町内会共通の課題である「避難所運営」に関する情報を、中学生から大学生、そして町内会の皆様と共有することで交流を図り、様々な地域活動に役立てることを目的に実施した、複数年にわたる継続事業となりました。

第一回目は、8/29 に国見小学校を会場に実施し、第一部は「避難所運営と中学生の役割」（南材地区連合町内会長）、第二部は、腹話術による防災トーク（ロゴス腹話術研究会）、第三部は「災害発生時の消防の役割」（青葉消防署国見消防出張所 地域防災アドバイザー）について、それぞれ講師先生からお話を頂きました。また、「ひとまちぼうた」「消防まさむね」の着ぐるみやスタンプラリー、小学校備蓄の防災用品の展示、組み立て等も実施し、雨にも関わらず参加した皆様からも、「高齢者から子供まで参加できる工夫がしてあり、何が必要で先に何をしなければならぬか理解できた」「このような防災イベントは継続してほしい」との意見も多数寄せられました。（254 人参加）

第二回目は、10/3 に貝ヶ森市民センターを補助避難所として使用する町内会の皆様と共に、避難所運営の初動対応を学び、地震体験、心臓マッサージ等各種訓練も実施しました。また、市民センター備蓄の防災用品の展示、運用、更には、東日本大震災のパネルを見ることで、忘れかけていた 3・11 を振り返るきっかけにもなったとの感想も寄せられました。（218 人参加）

第三回目は、11/21 に仙台第一中学校で実施しました。講師に仙台市危機管理室支援アドバイザーを迎え、一中生徒会、東北福祉大学のチーム・防災士、そして貝ヶ森、国見連合町内会の役員が「HUGS」に挑戦し、次々に示される想定を手際よく解決する等、実践的な講座に瞬く間に時間が過ぎてしまいました。参加者からは、「地域の人達と互いに責任を持って協力する必要性を痛感した」「僕達（中学生）が中心となって運営をしてみたい」等の感想も聞かれ、「避難所運営はまち創り」を確認した瞬間でもありました。（37 人参加）



＜中山市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

中山市民センターが平成25年度から複数年かけて取り組んできた事業「花と緑のエコタウンづくり」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成27年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

中山市民センターの落葉堆肥づくりの講座に参加した中山西寿会の方々は、会をあげて堆肥づくりに協力し、出来上がった堆肥を住民の方々に配付すると共に堆肥を活用して、月急山公園で花壇づくりを行っています。翌年には、きれいな花で公園が彩られることと思います。地域の美化とゴミ減量に貢献しています。



＜折立市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

折立市民センターが平成25年度から複数年かけて取り組んできた事業「昔遊び伝承事業」では、事業から誕生した昔遊びボランティアグループ「わらすこ」のメンバー11名が子どもたちに昔遊びの楽しさを伝える活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。平成27年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

①わらすこたいむ

月1回行われる児童館行事で、「わらすこ」のみなさんがいろいろな昔遊びを教えながら子どもたちと楽しく交流しています。子どもたちは普段あまり遊んだことのない昔の遊びに興味津々。毎回わらすこさんが来るのを楽しみにしており、毎月研修して次はどんな遊びをやってみようかと、みんなでアイデアを出し合いながら楽しく活動しています。

(開催日：5/20 6/17 9/16 11/18 1/20)



②第1回 わらすこまつり

初めて開催した昔遊びの大きなイベントです。行事の企画・準備から運営までをボランティアさんが担当して大活躍でした。大勢の小学生が参加して羽根つきや福笑い・こま回しなど日本の伝統的なお正月遊びを体験。ゲストのコマ名人のパフォーマンスや紙芝居上演もあり、子どもたちはお正月気分を満喫して楽しみました。(開催日：1/8)



③折立小学校1年生生活科授業「昔遊びにチャレンジ」

折立小学校からぜひ1年生に昔遊びを教えてくださいとの依頼があり、小学校におじゃましました。子どもたちはボランティアさんに教わりながらけん玉・お手玉・こま回しなど8種類の遊びにチャレンジし、何度も練習して「できたよ!」「やったー!」と歓声をあげていました。ボランティアさんたちはゲストティーチャーという大役を見事に果たし、ほっとした様子でした。後日子どもたちひとりひとりから感謝の言葉を綴った作文が届けられ、「わらすこ」のみなさんへの何よりのご褒美となりました。(開催日：1/26)



「わらすこ」のみなさんは、地域で中心となって活躍している、豊富な社会経験と知識をお持ちの方々です。いつも子ども達の成長をやさしく温かく見守り、人と人のかかわりの大切さや楽しさを遊びを通して教えてくださっています。今後もその力を存分に発揮できるよう、また、活動がさらに地域に広がっていくよう、折立市民センターでは事業の実施に力を入れて取り組んでまいります。

＜広瀬市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

広瀬市民センターが平成25年度から複数年かけて取り組んできた事業「地域の絆づくり推進事業」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成27年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

東日本大震災を経験したことから「絆」の大切さを実感し、日頃のいい関係づくりから「ひとづくり」「ものづくり」「こうりゅうづくり」につなげる目的で「田んぼアート」を開催しています。地域の絆づくりを目指すこの活動は、地域の方々の力なくしては成し得ない事業です。年々区内のみならず市外からの参加者や観覧者も増え、期待感も多く、地域にはなくてはならない事業になりました。

田植えや稲刈りなどのイベント時には、作業だけではなく参加者への“おもてなし”昼食の提供にも、JA婦人部の大きな支援をいただいています。



＜宮城西市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

宮城西市民センターが平成25年度から複数年かけて取り組んできた事業「西部地区が輝くプロジェクト委員会」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成27年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

この事業では郷土料理本の編集や、地域の伝統行事等について情報を収集しました。平成27年度は、これに関わった方々に講師をしていただきました。

◇調理実習（郷土料理）の講師

①地域の風習と郷土食について学ぶ「ずんだ餅とおくずかけを作る」

広陵中学校の総合学習授業で、宮城西西部地区での盆行事についての講話と郷土食の調理実習指導をしていただきました。

②親子ふれあい教室「郷土食を味わおう」の講師

宮城西市民センター主催による小学生親子対象の講座で、調理実習指導をしていただきました。

◇小正月行事「だんごさし体験」

豊作祈願として、みず木にたくさんのだんごを飾る小正月行事です。今ではこの行事をする家庭が減ったので、だんごさしについての話を聞き、幼児から高齢者まで総勢58人で天井まであるみず木にだんごをさし、飾りつけをしました。



①広陵中学校総合学習「ずんだ餅とおくずかけを作る」



②親子ふれあい教室「郷土食を味わおう」



小正月行事「だんごさし体験」

＜大沢市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

大沢市民センターが平成 25 年度から複数年かけて取り組んできた事業「大沢・川前地域交流ネットあがれ！天旗」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成 27 年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

「大沢・川前地域交流ネット あがれ！天旗」実行委員会の皆さんが
凧作りと凧揚げを行いました。

- 地域の児童館へ凧作りの出前に伺いました。
- 凧揚げのイベントをテレビの情報番組でPRしました。
- 晴天の中、凧揚げ大会を実施しました。

地域の皆さんが参加して楽しい交流の場をもつことができました。



出前で凧作りを行いました



OH！バンドスの情報コーナーでPR中



お天気に恵まれた凧揚げ大会になりました

〈落合市民センター〉の取組み〔目標3-②〕

落合市民センターが平成27年度から複数年かけて取り組んでいる事業「復興公営住宅におじゃまします」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成27年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

平成27年9月から平成28年2月まで月1回、落合市営住宅（復興公営住宅）集会所への出前講座を開催しました。（全5回）

その中で、最終回の「紙芝居で地元学！」において、伊達政宗公「五郎八俱樂部」に講師をしていただきました。

前段は「伊達政宗長女・五郎八姫ってどんな姫？」と題しお話をいただきました。後段は会員お手製の紙芝居を演じてもらいました。

今回は少しでも、復興公営住宅へ入居した方が、この地域に慣れ親しんでいただけるようにとの願いを込め、地元につながる話の伝承活動を行っている伊達政宗公「五郎八俱樂部」の皆さんにご協力をいただきました。

今後も会がますます発展し、活躍していけるよう支援していきます。



講座終了後は、お茶っこ交流会に同席し、入居者との交流を図りました。

＜吉成市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

吉成市民センターが平成25年度から複数年かけて取り組んできた事業「元気いっぱい街づくり・人づくり」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成27年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

当地域の中には地域が元気いっぱいの街づくりになるようにとの思いで活動をしていらっしゃる方々がいます。吉成市民センターでは、そんな方々と情報交換をしながら、共に手を携えて事業を実施しています。

① 吉成出前サロンの実施

南吉成町内会では毎月一回高齢者のための『お茶っこ飲み会』を開催しています。運営は南吉成地区社会福祉協議会の方をはじめボランティアの方々活躍しています。吉成市民センターではサークル紹介のご依頼を受け、「箏曲グループほおずき」によるお箏の演奏会を実施しました。当日は地域の方40人余りが新春にふさわしいお箏の演奏を楽しみました。

「箏曲グループほおずき」は20数年前からお箏に気楽に親しみ楽しんでいただくことをモットーに地域で活動をしているサークルです。古典曲から現代曲までとジャンルも広く、当日は代表の方の歌に合わせて扇子を動かしたり、会場みなさんと一緒に歌ったりと一足先に春がきたようでした。

② ロビーの活用

吉成市民センターでは地域のみなさまの発表の場として積極的にロビーの活用をすすめています。

地域のボランティア団体「ボラ・ネット杜の丘」の会員が地域の方と一緒にひと針ひと針心を込めて製作した「つるし雛」が市民センターのロビーを華やかに飾ってくれました。併設の児童館による行事「おひなさまお茶会」でも雰囲気盛り上げてくれるとともに、こどもたちに季節感を感じてもらう良い機会となりました。「ボラ・ネット杜の丘」は毎月一回市民センターを会場に「ふれあいお食事会」を開催するなど地域に根ざしたさまざまなボランティア活動をしている団体です。



南吉成町内会のお茶っこ飲み会



「ボラ・ネット杜の丘」つるし雛

＜木町通市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

木町通市民センターが平成 25 年度から複数年かけて取り組んできた事業「市民企画会議きずな・まなび・ちいき」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成 27 年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

市民企画会議では、「人づくり・絆づくり」等について意見がかわされました。その中で企画員の方々から「北三番丁公園の活性化」をキーワードに地域づくりを考えてみたらどうかという提案が出されました。

企画会議は北三番丁公園の成り立ちや思い出が語られ、議論の結果、公園の整備・清掃活動等を開催し、参加を地域の人々に呼び掛け、公園を地域づくりの拠点にしようという方向性が示されました。

また、北三番丁公園をもっと知ってもらうために、市民企画会議を経て企画された講座「ウォッチング！北三番丁公園」を開催しました。

講座の内容は、企画員が講座の講師となり「北三番丁公園」をいろいろな観点から多くの人々に知ってもらおうとの狙いのもと、全 3 回連続講座（①「公園内マップ」を作ろう！ 6/21 開催、②北三番丁公園自然観察会（7/18 開催）、③北三番丁公園の未来予想図を考えよう！ 8/22 開催）を開催しました。現在も月 1 回の割合で市民企画会を開催し、企画や来年度に向けての話し合いを進めています。

★北三番丁公園の花壇整備・清掃活動の様子



★市民企画会議を経て企画

